

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください！

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないこと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- 外壁面とのシーリングは、プライマーを塗布し、伸縮性に優れた**変成シリコン系シーリング材**をご使用ください。
(別途手配品)



注意

- 風が吹いている時は、必ずスクリーンを収納してください。
スクリーンが風にあおられ、商品が破損するおそれがあります。

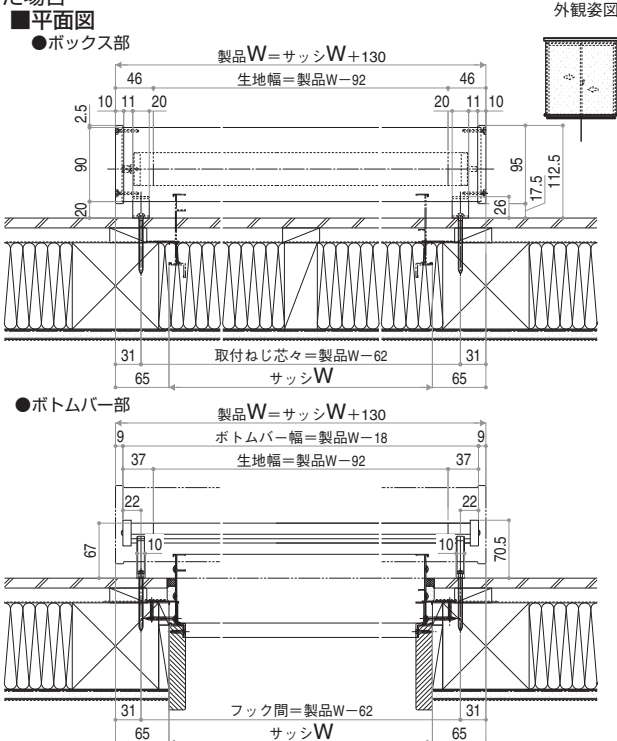
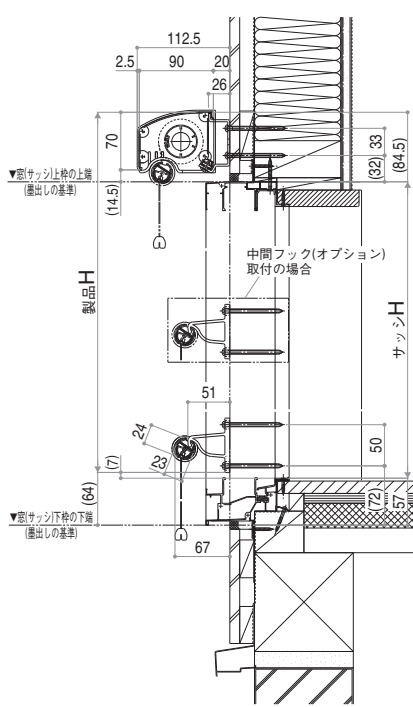
お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。
- 2階窓(サッシ)への取付の場合、足場を設置するなど安全に施工することが可能かを確認してください。
- 3階窓(サッシ)への取付は、必ずバルコニーに面する窓(サッシ)へ取付けてください。
- 施工前に必ず建築図面等から柱、間柱などの位置、寸法、外壁材、下地の寸法を確認してください。
- サイディング通気工法の場合、木ねじの取付け位置に胴縁があることを確認してください。あらかじめ、胴縁を入れておくように建築施工業者と相談してください。
- 木ねじの位置に柱、間柱があることを確認してください。
- 木ねじの取付位置は柱の端部にならないよう、また外装材の端部にならないようにしてください。
- 組立・施工は所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
- 木ねじは必ずドリルで下穴をあけ、シーリング材を充て込んでからたたき込みます。確実にねじ込んでください。
- 施工後、各部の締め忘れゆるみがないか、よく確認してください。
- 説明書に記載している部品以外は使用しないでください。

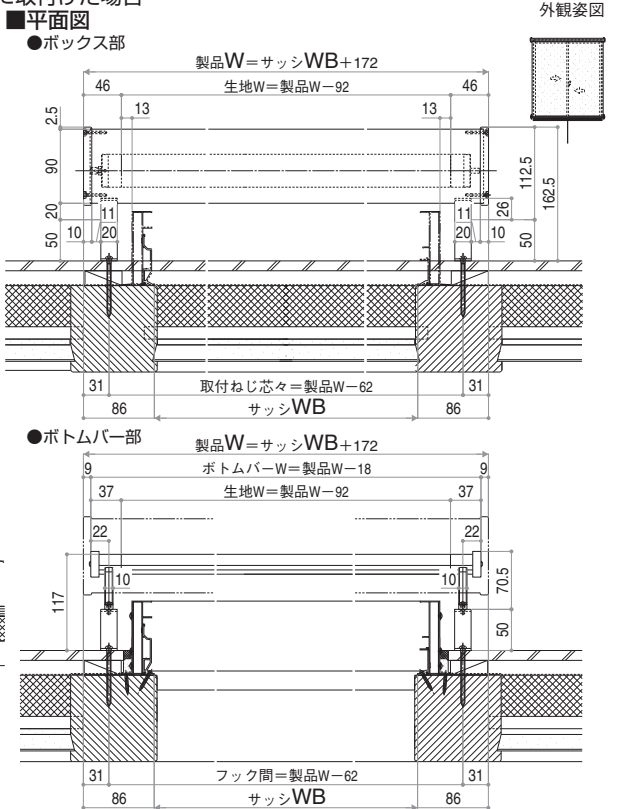
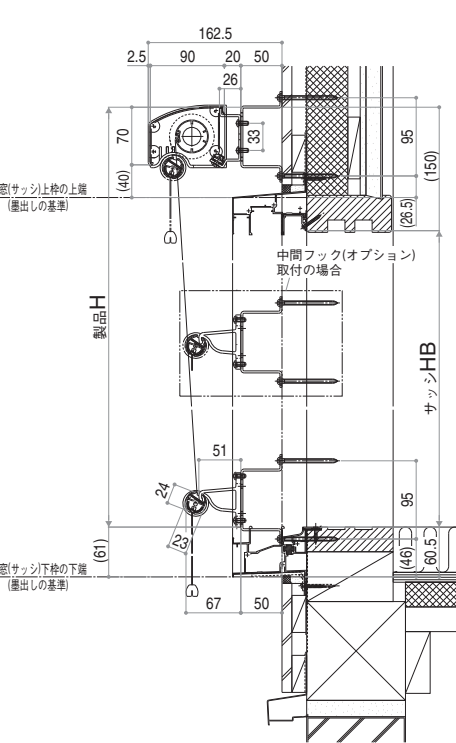
商品断面図

()内の寸法は参考寸法です。

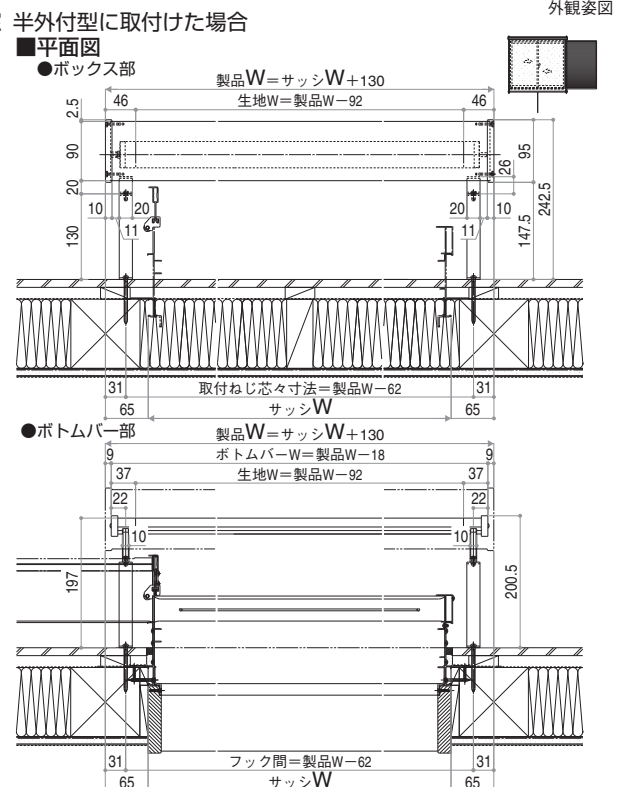
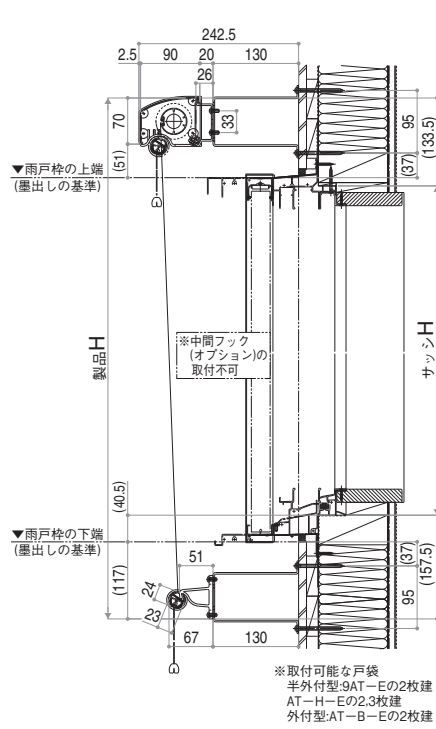
●壁付け納まり引違い窓 半外付型に取付けた場合



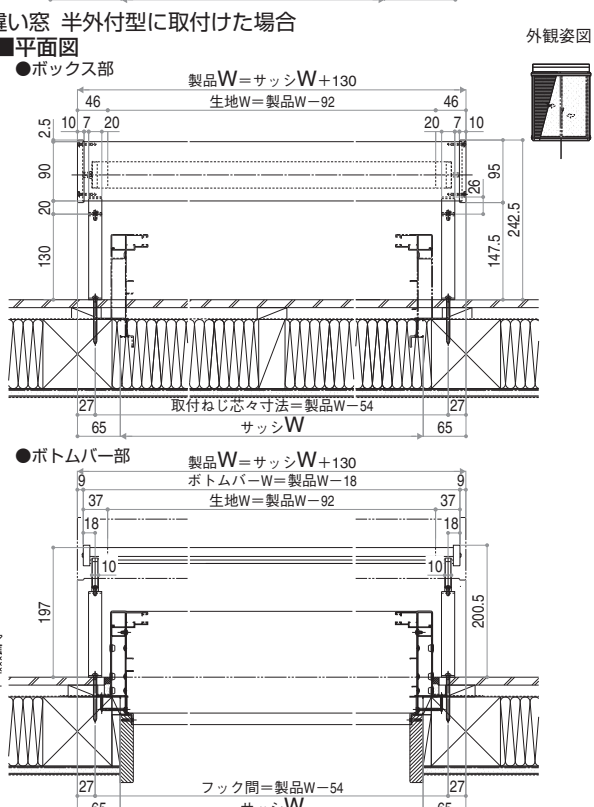
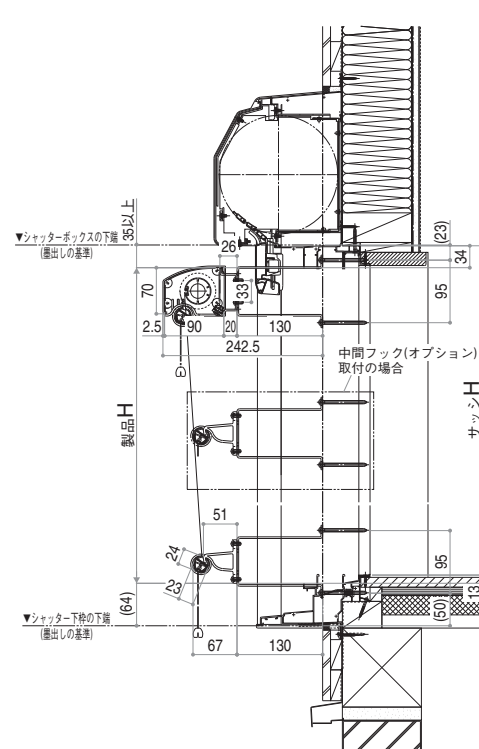
●持ち出し納まり(出幅50) 引違い窓 外付型に取付けた場合



●持ち出し納まり(出幅130) 雨戸付引違い窓 半外付型に取付けた場合



●持ち出し納まり(出幅130) シャッター付引違い窓 半外付型に取付けた場合



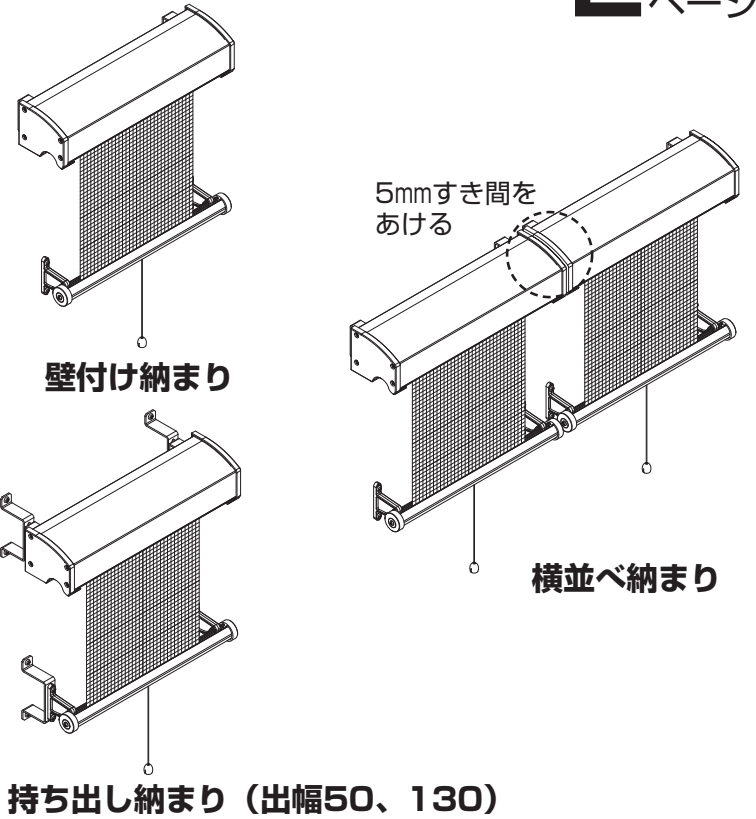
姿図					
品名	ボックス本体	ブラケット	スクリーンフック	ゆるみ防止ねじ (φ5×10)	丸木ねじ (φ5.1×70)
品番	—	5K-16597	2K-37475	ET-5010-SA	WR-5170D9-1
個数	1	2	2	2	8
備考				ボックス本体取付用	ブラケット、スクリーンフック、持ち出し金具取付用

■持ち出し金具(出幅 50) 5AN-GA-A
 ■持ち出し金具(出幅130) 5AN-GB-A

姿図			
品名	持ち出し金具(出幅50)	持ち出し金具(出幅130)	ゆるみ防止ねじ (φ5×10)
品番	5K-15204	5K-15205	EM-5010-SA
個数	2	—	4
備考			スクリーンフック固定用

■横並べ対応 5AN-GE

姿図		
品名	ブラケット	ゆるみ防止ねじ (φ5×10)
品番	5K-16797	EM-5010-SA
個数	4	8
備考		スクリーンフック固定用

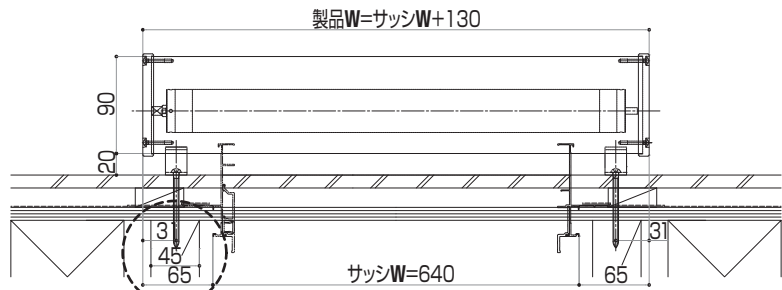


施工前の確認

本体を取付ける前に、必ず下記の項目について打合せをして、取付け可能かどうか確認をしてください。

①窓(サッシ)のサイズ、納まり

【3尺以下のサイズ(060)の注意点】
 (例：サッシW640(060)の場合)

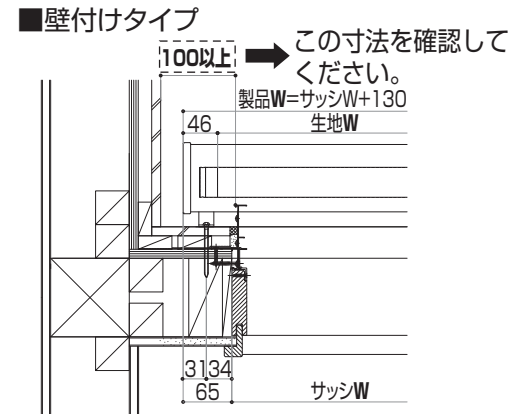


45mm厚の間柱がないと、木ねじの取付けが不十分になる可能性があります。

対応方法

- 「新築の場合」
木ねじの取付け位置に主柱・間柱(45mm厚以上)を入れてください。
- 「既築の場合」
主柱に木ねじが取付けできるように大きいサイズの本体を取付けてください。

【入隅窓(サッシ)の注意点】



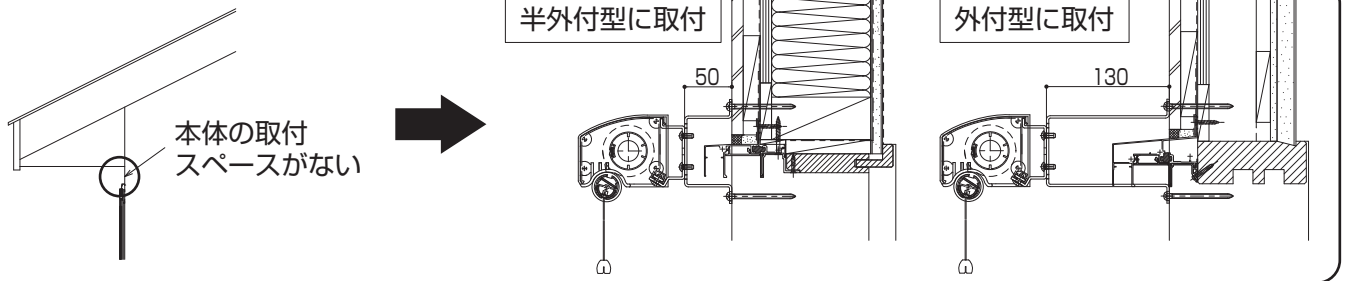
②本体取付部

- ①外壁と窓枠の出寸法：A寸法
- ②外壁厚：45mm以下

	納まり	壁付け	持ち出し(出幅50)	持ち出し(出幅130)
出寸法の対応範囲	半外付型	半外付型	外付型	雨戸付 半外付型・外付型 シャッター付 半外付型・外付型
出寸法の対応範囲	出寸法の対応範囲 $A \leq 30$	出寸法の対応範囲 $30 < A \leq 80$	出寸法の対応範囲 $80 < A \leq 150$	出寸法の対応範囲 $80 < A \leq 100$
	▼窓(サッシ)上枠の上端(墨出しの基準)	▼窓(サッシ)上枠の上端(墨出しの基準)	▼窓(サッシ)上枠の上端(墨出しの基準)	▼シャッターボックスの下端(墨出しの基準)

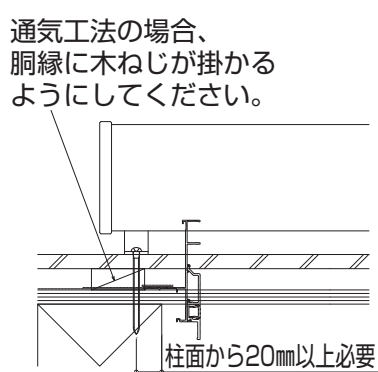
ポイント

窓(サッシ)上部と軒裏との間に本体取付のスペースがない場合、持ち出し金具を使用して窓(サッシ)上枠の正面に取付けることができます。
 ※本体を並べて設置する場合は、取付できません。



③躯体下地

木ねじは主柱、間柱(45mm厚以上)に取付けてください。下記の内容について確認してください。



ポイント

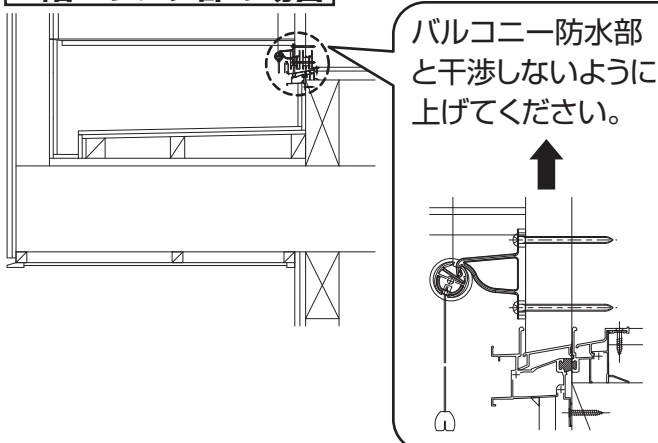
土台天端

柱頭・柱脚部のプレート状の金物・クレテック金物等を使用している場合、木ねじと干渉する可能性があります。この場合は、スクリーンフックの位置を上げてください。

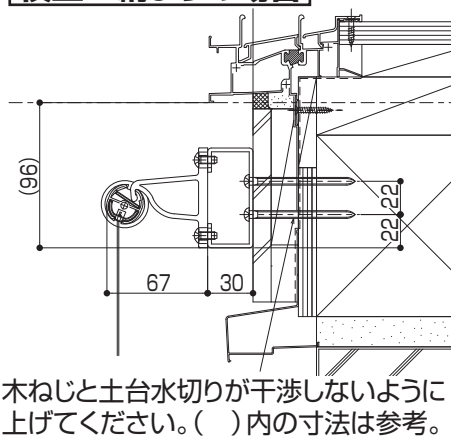
④スクリーンフックの取付位置

商品断面図を参考にしてください。下図の納まりの場合は、スクリーンフックの位置を上げてください。

2階ベランダ部の場合



横並べ納まりの場合



組立・施工

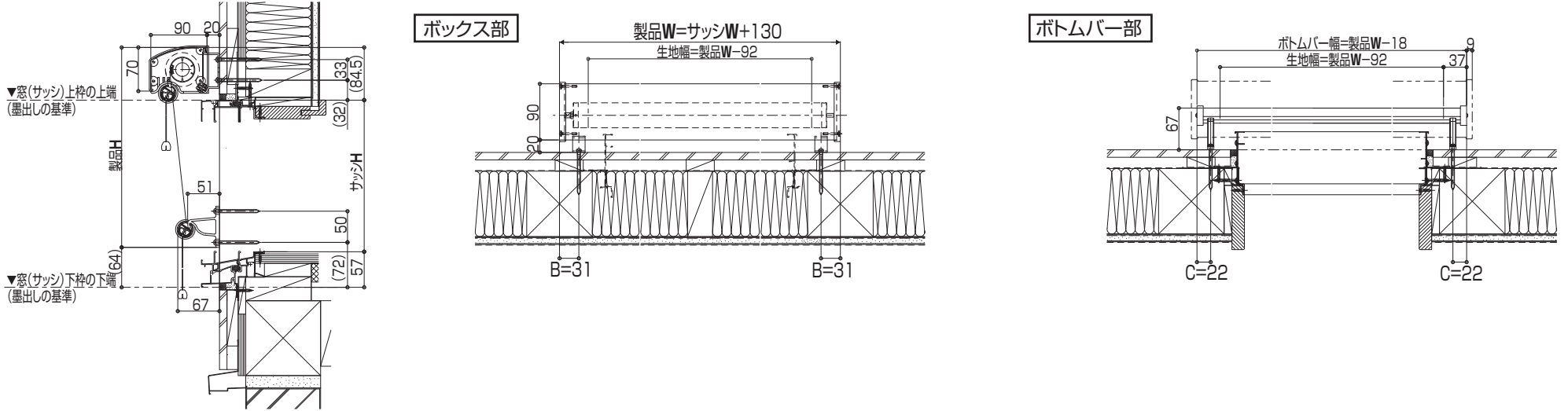
1 墨出し

[横方向] 窓(サッシ)枠の中心の位置を出し、そこからボックスの両端部の位置を出してください。

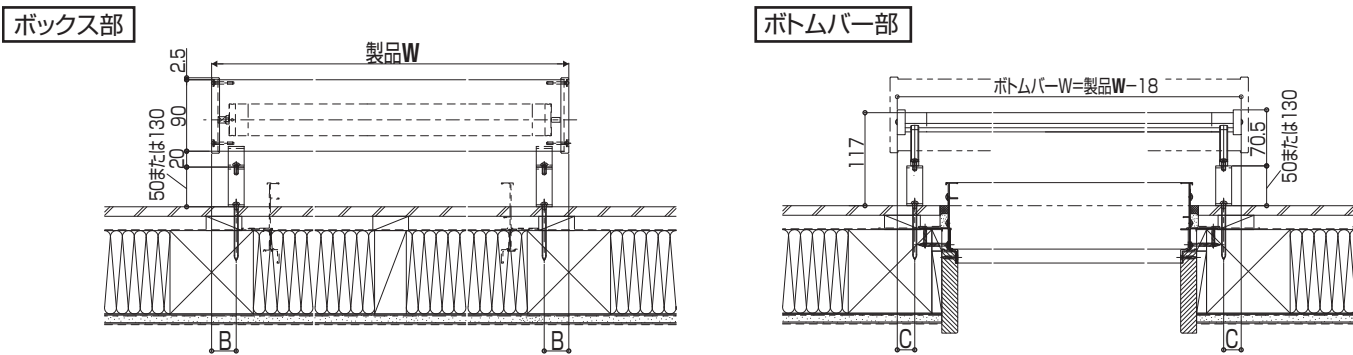
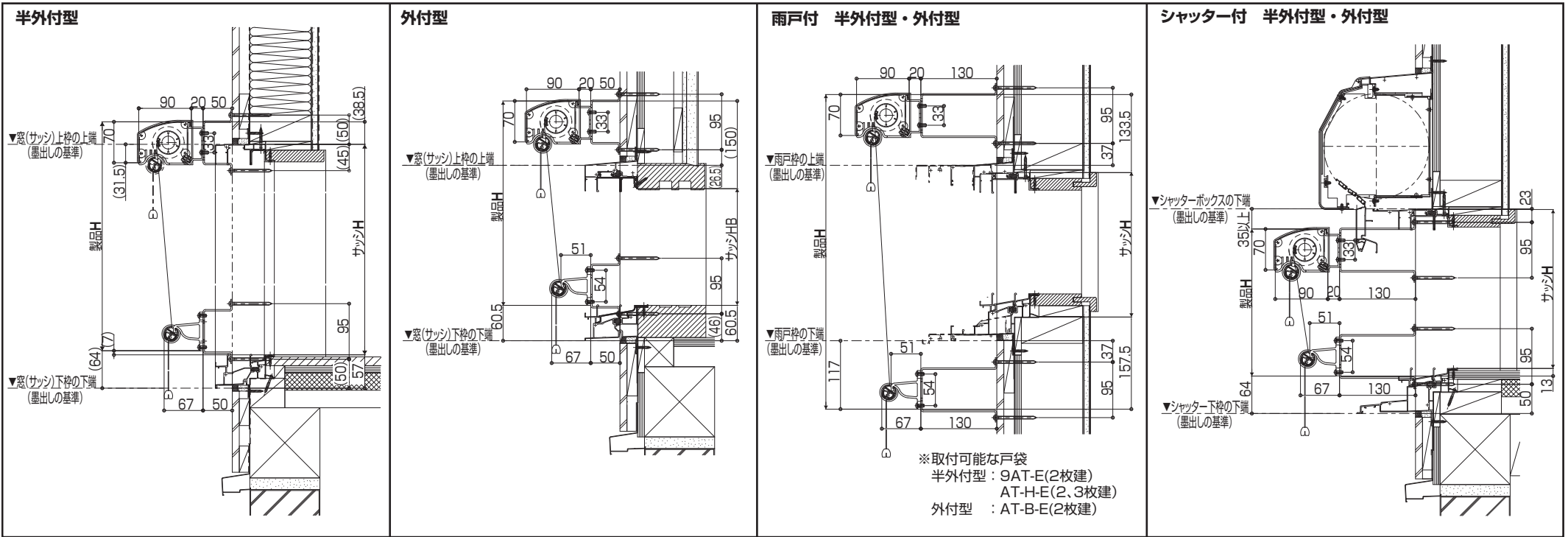
さらに下図・表を参照し、木ねじの芯の位置を出してください。

[たて方向] 下図を参照し、ボックス本体用とスクリーンフックまたは持ち出し金具の取付用木ねじの位置を出してください。

■壁付け納まり ()内の寸法は参考寸法です



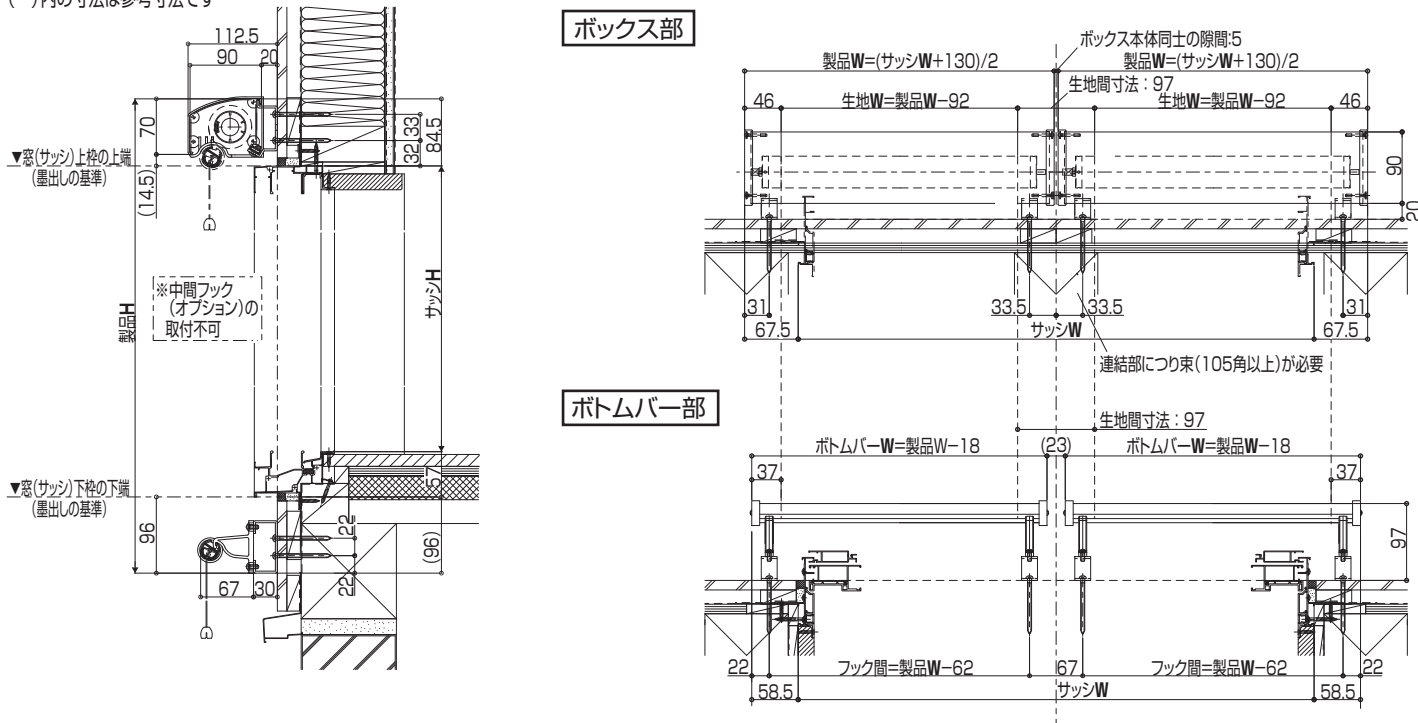
■持ち出し納まり ()内の寸法は参考寸法です



	半外付型	外付型	雨戸付 半外付型	雨戸付 外付型	シャッター付 半外付型	シャッター付 外付型
製品W	サッシW+130	サッシW+172	サッシW+130	サッシW+172	サッシW+130	サッシW+172
B寸法	31	31	31	31	27	27
C寸法	22	22	22	22	18	18

■横並べ納まり ※9尺窓の場合

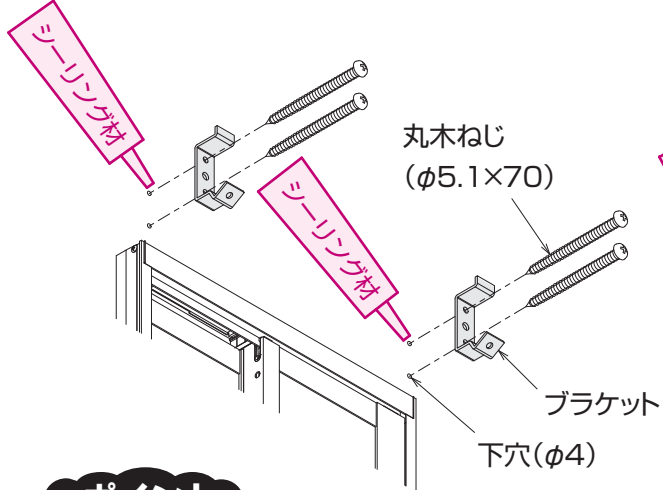
()内の寸法は参考寸法です



2 ブラケットの取付

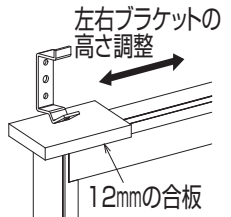
壁付け納まり

墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、ブラケットを取付けてください。



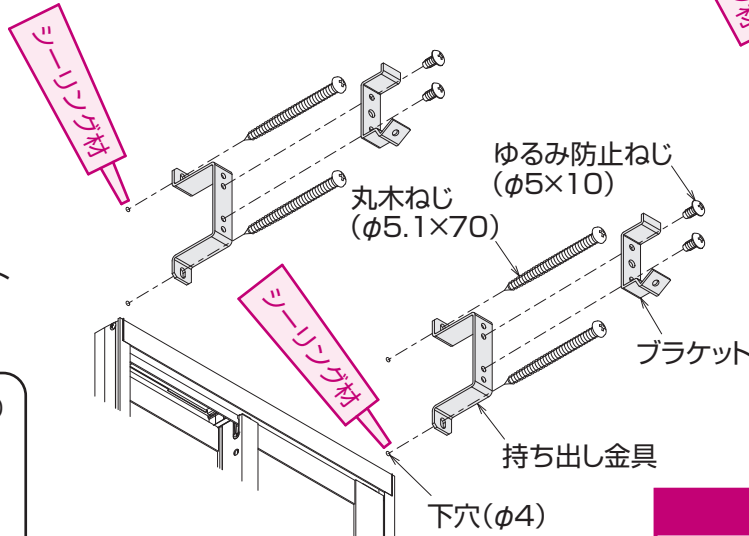
ポイント

ブラケット取付用ねじを本締めする際、左右のブラケットの高さ調整が必要です。12mmの合板をサッシ上枠に置いてスペーサにすると便利です。



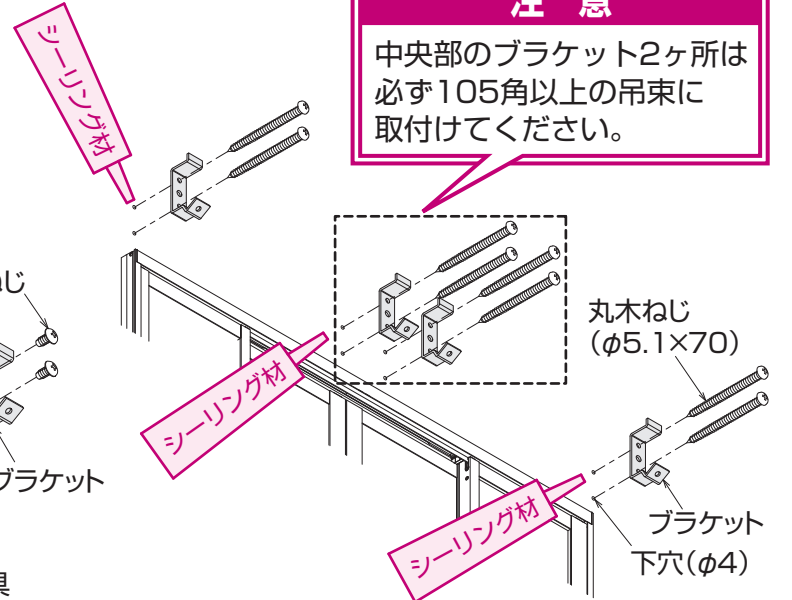
持ち出し納まり(出幅50、130)

- ①墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、持ち出し金具を取付けてください。
- ②持ち出し金具にブラケットを取付けてください。



横並べ納まり ※9尺窓の場合

墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、ブラケットを取付けてください。



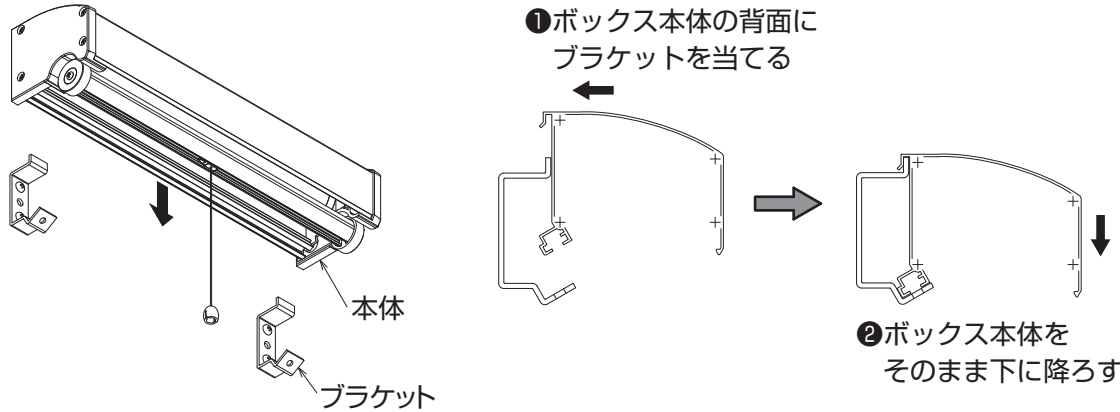
注意

中央部のブラケット2ヶ所は必ず105角以上の吊束に取付けてください。

シーリング

φ5.1丸木ねじは下穴(φ4)をあけ、シーリング材を充てんしてからねじ込んでください。

3 ボックス本体の仮置き

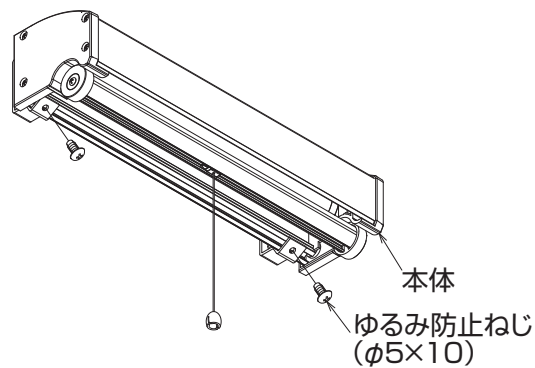


注意

- 必ずボックス本体がブラケットに仮置きしていることを確認してください。仮置きされていないとボックス本体が落下する可能性があります。
- 仮置き状態で左右にスライドさせないでください。ボックス本体の背面を傷つけるおそれがあります。

4 ボックス本体の本固定

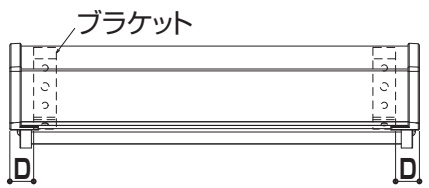
ボックス本体の裏板をブラケット位置に移動して、ゆるみ防止ねじでボックス本体を本固定してください。



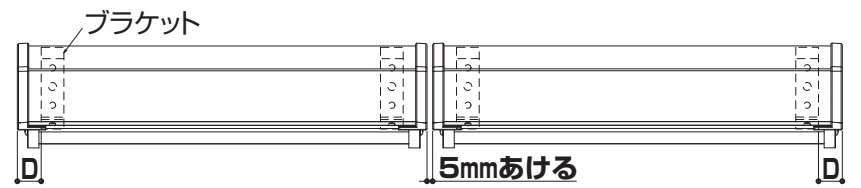
注意

壁付け納まり

持ち出し納まり(出幅50、130)



横並べ納まり ※9尺窓の場合

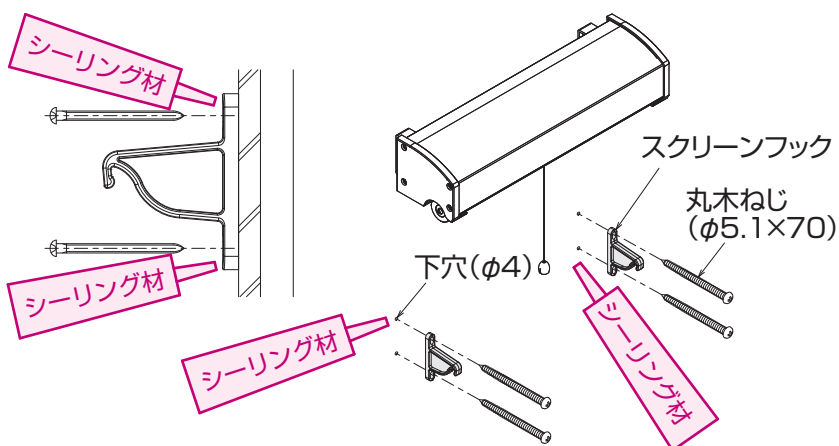


- D寸法を左右同じにしてください。D寸法を調整する際はボックス本体を浮かして行ってください。
- 水平器を置いて水平であることを確認してからボックス本体を本固定してください。

5 スクリーンフックの取付

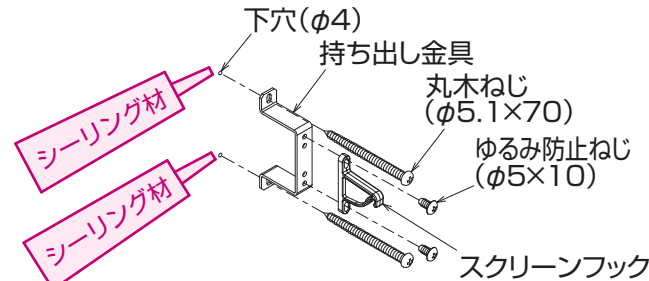
壁付け納まり

墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、スクリーンフックを取付けてください。



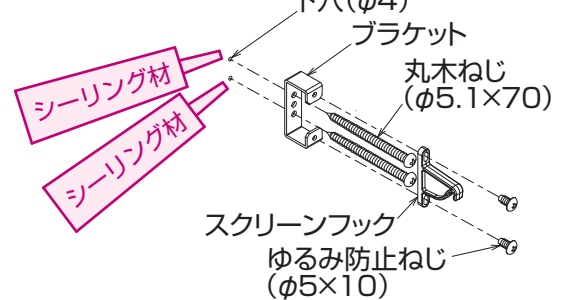
持ち出し納まり(出幅50、130)

- ①墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、持ち出し金具を取付けてください。
- ②持ち出し金具にスクリーンフックを取付けてください。



横並べ納まり

- ①墨出しした位置に下穴(φ4)をあけて、ブラケットを取付けてください。
- ②スクリーンフックをブラケットに取付けてください。



シーリング

φ5.1丸木ねじは下穴(φ4)をあけ、シーリング材を充てんしてからねじ込んでください。

6 スクリーンの開閉確認

最後にスクリーンの開閉確認をしてください。

注意

ボトムバーをスクリーンフックに引掛けた状態で、ボトムバーの傾き・スクリーンの傾き・たるみがないようにするため、ボックスからスクリーンフックまでの位置を調整してください。

